

本会では、平成23年度、中央会活動ビジョンである「『強い組合 強い企業づくり』の推進と会員組合・組合員企業のニーズに即した事業の実践」を活動目標として、各種事業を実施しました。

本号では、平成23年度に実施した事業の取り組みから、いくつかの事業の成果をご紹介します。

I 組合活力向上事業

組合及び組合員企業が抱えている課題等について、必要に応じて専門家とともに集中的な支援を行いながらその課題解決を図り、組合活力の向上に結びつけることを目的に14組合が実施しました。実施組合より一例を紹介します。

【協同組合あきた安心リフォーム協議会】

組合統一のマニュアルを作成することで、説明や提案の質を高め、トラブルの防止及びアウトサイダーとの差別化を図り、真の「安心リフォーム」を追求することを目的に、全3回に亘り実施しました。

事業では、最初にトラブル事例とクレーム対応に関する研修会を行い、統一マニュアルの必要性を学んだ後、組合内にマニュアル作成委員会を設け、リフォーム工事施工に携わる心構え等の基本行動についての「リフォーム工事マニュアル」を作成しました。完成したマニュアルは、今後、各組合員企業の新人教育等に活用される予定です。



【研修会の様子】



【完成したマニュアル】

II 高齢化社会対応懇談会

急速に進む高齢化社会の中で、昔ながらの“御用聞き”を新しいビジネスとして見直し、“買い物弱者”に対する買い物の利便性の向上や高齢者の生活の安全を守る等、地域ぐるみ或いは異業種の組合の連携により支えていく新たな複合型ビジネスの可能性を模索することを目的に実施しました。

平成23年度は、3回に亘って、高齢化社会の現状把握や高齢者向けサービスの具体的事例を研究し、各業界組合で想定される高齢者向けサービスの内容を中心に懇談を行いました。その結果、高齢者向けサービスの構築に向けた考え方やノウハウについて理解を深めることができ、高齢者ビジネス構築の必要性について認識を共有することができました。

平成24年度は、高齢者を対象とした新たなビジネスへの取り組みが想定される業界組合を対象に、現状や課題を整理しながら、業種の垣根を越えた組合間連携による新たな複合型ビジネスモデルの具体的な仕組みづくりを行い、会員組合にとって有益な新規事業の構築を目指すことにしています。



【懇談会の様子】

Ⅲ 青年部研究会事業

若手経営者の人材育成を図ることを目的に、今年度は4組合の青年部を対象に、経営手法や技術に関する知識等を習得するための研究会を実施しました。

実施組合より一例を紹介します。

【秋田県自動車車体整備協同組合青年部】

次世代自動車である電気自動車の構造を研修し、自動車整備技術の向上を図るとともに、コンバートEVの取り組みを視察することで電気自動車の新技術を研修しました。コンバートEVの製作は比較的容易であることから、新しいビジネスチャンスの芽として自動車整備業界全体で今後の動向に注目しています。



【研修会の様子】

Ⅳ 首都圏攻略プロデュース事業

県内食料品関連業界の活性化を図ることを目的に首都圏で売れる商品の開発から販売促進までを一貫して支援する『首都圏攻略プロデュース事業』を平成22年度に引き続き実施しました。

平成23年度は、プレゼンテーション審査により採択された株式会社菓子舗榮太楼(秋田市)、株式会社鈴木水産(八峰町)の2事業所を対象にマーケティング調査や商品改良支援を実施しました。また、開発商品については、「あきた美彩館」(東京都)での試食販売会や「FOODEX JAPAN 2012」への出展支援等を実施し、新たな販路開拓に繋げることができました。平成24年度も本事業を実施していくことにしています。



【あきた美彩館(東京都)での試食販売会】

Ⅴ グループ創業バックアップ事業

創業に向けた意欲の喚起と、企業組合制度の啓蒙普及を図るため、県内で創業を考えている方や、創業に関する知識を習得したい方を対象に、3日間の日程で創業塾を開催しました。塾では、創業に関する心構えを学び、創業の具体的なプランの作成を行いました。また、創業の事例として、地元農産品の販売にこだわった事業を展開している青森県の「企業組合あおり万華堂」を招き、体験談を伺いました。創業塾を受講したことによって創業意欲が高まり、終了後に個人創業を目指す受講者や、グループによる企業組合設立や農事組合法人設立に向けての動きもみられました。

平成24年度は、引き続き県内でグループ創業を目指す方の支援と、協同組合設立に向けた任意グループ等への組織化支援を行うことにしています。



【創業塾の様子】

Ⅵ 農商工連携等人材育成事業(農商工連携人材育成スクール)

本県の食糧自給率が全国2位である強みを活かし、農商工連携を通じて、農林水産物を利用した売れる商品づくりから販売まで幅広い視点で推進できる人材を育成し、付加価値の高い商品・サービスの創出につなげていくことを目的に農商工連携人材育成スクールを実施しました。

本スクールは、県内中小企業者や生産者等68名の参加により開講し、半年以上に亘って、講義、ロールプレイングと、試作品開発を含む実地研修を行いました。終了後に受講者が連携して商品化し、販売にこぎ着けた事例もあります。



【農商工連携人材育成スクールの様子】